

令和5年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市障害者福祉施設春光園(けやき、うえみず)
(2)施設概要	<p>①所在地 春光園けやき:さいたま市見沼区宮ヶ谷塔1-280 春光園うえみず:さいたま市西区佐知川299-16</p> <p>②施設の設置目的 生活介護事業は、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、入浴、排せつ及び食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他の便宜を適切かつ効果的に行う。 自立訓練事業は、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、原則2年間にわたり生活能力の維持、向上等のために必要な支援、訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行う。 相談支援事業は、障害者(児)及びその家族に対して、それぞれが抱える問題や課題を確認し、各関係機関との連携を図り、適切なサービスを受けることができるよう利用計画を作成し継続した状況把握を行う。</p> <p>③施設の概要 事業指定年月 平成18年10月 敷地面積 けやき:9,146.00m² うえみず:1,072.70m² 延床面積 けやき:2,014.50m² うえみず:286.52m² 構 造 けやき:鉄筋コンクリート造平屋建 うえみず:軽量鉄骨造平屋建 事業内容 けやき : 生活介護事業(定員77人) 自立訓練(生活訓練)事業(定員10人) 相談支援事業(特定相談支援・障害児相談支援) うえみず: 生活介護事業(定員20人) 相談支援事業(特定相談支援・障害児相談支援)</p>
(3)指定管理者	社会福祉法人 さいたま市社会福祉事業団
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理料(直近3か年) 令和3年度181,186千円、令和4年度181,889千円、令和5年度181,889千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <p><春光園けやき生活介護事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・延利用者数 15,088人(前年度 15,434人) ・平均利用者数 61.1人(前年度 63.0人) ・稼働率 79.3%(前年度 81.8%) <p><春光園けやき自立訓練事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・延利用者数 222人(前年度 217人) ・平均利用者数 0.9人(前年度 0.9人) ・稼働率 9.0%(前年度 8.9%) <p><春光園けやき相談支援事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約者数 122人(前年度 117人) <p><春光園うえみず生活介護事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・延利用者数 3,666人(前年度 4,064人) ・平均利用者数 15.1人(前年度 16.3人) ・稼働率 75.4%(前年度 81.6%) <p><春光園うえみず相談支援事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約者数 44人(前年度 40人) <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開所日数 けやき:247日 うえみず:243日 ・園外活動 ・自主製品生産 ・受注作業

(5)施設の管理運営の内容	<p>②維持管理業務の状況 (けやき)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防設備保守点検業務・空調設備保守点検業務・自動ドア保守点検業務・自動給水ポンプユニット保守点検業務・自家用電気工作物保安管理業務・汚水処理施設保守点検業務・害虫駆除防除業務・清掃等管理業務・機械警備業務・受水槽法定点検・塵芥収集運搬処理業務・公共建築設備等点検業務・厨房二層シンク修繕・トイレ漏水修繕・畳表替修繕・消防設備不備修繕 (うえみず) ・機械警備業務・消防設備保守点検業務 ・清掃業務・植木剪定業務・空調設備保守点検業務 						
(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービス等事業収入 232, 620千円 (前年度237, 993千円) ・指定管理料 181, 186千円 (前年度181, 889千円) ・その他 6, 653千円 (前年度 65, 285千円) ・人件費積立資産取崩収入 26, 825千円 <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費 301, 154千円 (前年度306, 580千円) ・事務費 9, 063千円 (前年度 9, 161千円) ・施設管理費 78, 818千円 (前年度 87, 590千円) ・事業費 14, 887千円 (前年度 12, 384千円) ・繰入金支出 33, 565千円 (前年度 33, 565千円) ・その他 7, 953千円 (前年度 35, 887千円) <p>【自主事業】</p> <table border="0"> <tr> <td>①収入</td> <td>1, 157千円 (前年度 2, 561千円)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">前期末支払資金残高取崩 50千円</td> </tr> <tr> <td>②支出</td> <td>1, 207千円 (前年度 2, 561千円)</td> </tr> </table>	①収入	1, 157千円 (前年度 2, 561千円)	前期末支払資金残高取崩 50千円		②支出	1, 207千円 (前年度 2, 561千円)
①収入	1, 157千円 (前年度 2, 561千円)						
前期末支払資金残高取崩 50千円							
②支出	1, 207千円 (前年度 2, 561千円)						
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	<p>利用者アンケートの実施等により、利用者からの意見・要望受け付ける機会を設けた。頂いたご意見やご要望には可能な限り対応し、サービスの向上、満足度の向上に努めた。</p> <p>具体例としては、コロナ禍で中止していた昼食後のブラッシングを再開し、利用者の口腔衛生の向上とご家庭の負担軽減に努めた。また、土曜日開業を前年度よりも回数を増やして実施したほか、利用者個々の事情に合わせて送迎の乗降場所や乗降時間の調整を適宜行った。</p> <p>なお、アンケートを通じていただいたご質問やご意見に対しては回答書を作成し、施設内で掲示を行った。</p>						
(8)その他							

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
基本的なサービス提供を行うと共に利用者が主体となるような事業を実施します。	<p>春光園けやきの生活介護事業、自立訓練(生活訓練)では、ご利用者の障害特性や程度に応じたグループ編成を行い、各グループの特色を生かした日常活動を提供した。</p> <p>外出活動や日中活動では、複数の企画を立案し、タブレット端末や写真カード、絵カード等を利用し、ご利用者が選択できるよう配慮し、意思や要望を確認してご参加いただいた。</p> <p>日常では、日々の連絡帳や電話によるご家族との情報交換や家族懇談会、そして年2回の個別面談等を通してより良いサービスが提供できるようニーズの把握に努めた。</p> <p>給食及び送迎サービスを滞りなく実施した。</p>
関係機関と連携 地域住民との交流を図り開かれ施設を目指します。	<p>相談事業においては、月1回の見沼区支援課で行われる相談支援会議に参加し、近隣の事業所との情報交換を通じて地域の実情を共有することができた。</p> <p>計画相談では、ご利用者並びにご家族からサービスの利用状況やサービスに対する感想を面談で伺うとともに、定期的に事業所等に訪問してモニタリングを行った。サービスを円滑に利用していただくため、ご利用者の意向を反映した計画の作成を心掛け、各関係機関と情報交換や共有を行った。その他に、ご家庭の緊急な事情によっては行政と連携し、サービス支給変更の計画作成や事業所探しなど迅速に対応した。</p> <p>地域住民との交流機会として地区社協の協力のもと草刈りボランティアを募集し、グラウンド除草作業を実施して障害者施設の理解促進に努めた。また、春岡フェスティバルや地区毎のアート作品展参加、施設見学会や実習生受け入れの積極的な実施を通して「開かれた施設」としての場を確保した。他にも、埼玉県南卸売団地及び、大宮北東ロータリークラブとの共催行事も再開し、地域との協力関係を深めることができた。</p>
一人ひとりの適正、状況、特性に応じた適切な支援を行うことで、社会生活の場を広げ、生活の質及び生きがいを高めていけるよう努める。	<p>春光園うえみずの生活介護事業では、年2回の個別面談や家族懇談会、また、アンケート調査等を通じて利用者・家族から要望を聞き取った。抽出した課題や汲み取ったニーズ・デマンドは、個別支援計画や施設運営に反映した。</p> <p>園外活動では、路線バスを利用した外出活動を実施したり、送迎バスを利用しショッピングモールに出掛け、買い物をしたり、お菓子工場の見学を実施し、ご利用者が楽しみ、様々な体験ができるように努めた。</p> <p>土曜日開業は、近所のコンビニエンスストアまで歩いて買い物に行くなど、社会体験を中心としたプログラムを提供し、余暇支援の充実に重点を置いて実施した。</p>
地域のこどもたちとのつながり	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、植水保育園や佐知川放課後児童クラブを招待してのボランティアコンサートや大宮西小学校のバザーへの参加は中止した。</p> <p>令和5年8月及び令和6年3月に、隣接する佐知川放課後児童クラブと合同の防災訓練を、感染防止対策を徹底したうえで実施した。</p>

3 評価

(1) 指定管理者による評価

・春光園けやきにおいては、ご利用者の一人ひとりがその人らしく主体性を持った生活を送ることが出来るよう、ご利用者の意思を尊重した支援を実施した。日中活動や園外活動の内容に関してご自身で選択する機会を多く設けた。

言語によるコミュニケーションが難しいご利用者の意思を確認する際には、絵カード、写真カード、タブレット端末を利用し視覚的に理解し意思の表出が図れるよう配慮した。

新規利用者獲得のために施設紹介のDVDを作成し、特別支援学校に配布した。また、現場実習を積極的に受け入れ、卒業後の進路先となるように努めた。

・春光園うえみずにおいては令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行してからも、引き続き感染拡大防止に努めて開業し、園外活動や土曜日開業を実施した。

令和5年度の土曜日開業は、新型コロナウイルスのために中止した9月9日(土)の1回を除き、全部で5回実施し、利用者の余暇支援の充実及びご家族の休息支援のニーズに応える機会とした。

虐待防止については、内部研修を実施したほか、法人主催の人権擁護・虐待防止研修に参加し、職場内で伝達研修を行った。併せて各職員が虐待防止チェックリストを実施し、虐待防止委員会で振り返りや考察を行った。

施設の維持管理については、業者による設備点検や定期清掃、植木剪定に加え、職員による日常清掃を実施した。利用者が安全かつ快適に利用できるよう、施設の清潔保持や美化、事故防止、感染症予防に努めた。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:福祉局障害福祉部障害政策課)

総合評価(B)※A~D

春光園けやきの生活介護事業では、ご利用者の障害特性や程度に応じたグループ編成を行い、各グループの特色を生かした日常活動を提供している。また、春光園うえみずの生活介護についても、個別面談や家族懇談会などで要望を聞き取り、利用者に合わせた支援を提供した。

また、利用者アンケートを実施した結果、コロナ禍で中止していた昼食後のブラッシングを再開や、利用者個々の事情に合わせて送迎の乗降場所や乗降時間の調整を適宜行った。このほか、地区社協の協力によるグラウンド除草作業や、春岡フェスティバル等に参加し、地域住民との積極的に交流の機会を作った。

以上のことと踏まえ、総合評価を「B」とした。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

来年度以降も適正な管理運営を継続するよう指導していく。また、施設の稼働率と利用者の満足度向上にむけて、指定管理者の取組みを見守るだけでなく、市として関与できる部分については連携していきたい。